

“ 青い海、熱い心、 ” ここは横須賀～

横浜朝鮮初級学校運動会 サンホン君大活躍



朝青横須賀支部

夏は横須賀に任せとけ!!

朝青横須賀 BBQ2011

2011年8月7日

開演開始時間 10時～

場所 朝青公園

料金 大人 1000円 子供 500円

申し込み 7月10日(日)まで

申し込み先 朝青横須賀支部

電話 046-822-5250

メール yoko@yoko.ocn.ne.jp

住所 横須賀市日の出町3-19

ニヨメン横須賀支部

保土ヶ谷公園散策と「民族文化の日」観覧

バスが出ます。

集合場所：横須賀中央ドコモショップ前

日時：2011年7月18日(月)祝日

時間：9時45分(時間厳守)10時出発

準備物：日傘、帽子、お弁当

(希望者は弁当注文も受けます。800円)

保土ヶ谷公園散策と「民族文化の日」観覧

バスが出ます。
集合場所：横須賀中央ドコモショップ前
日時：2011年7月18日(月)祝日
時間：9時45分(時間厳守)10時出発
準備物：日傘、帽子、お弁当
(希望者は弁当注文も受けます。800円)

푸른바다 여기는 横須賀 뜨거운마음

NPO 横須賀同胞生活相談総合センター
横須賀市日の出町 3-19
TEL: 046-822-5250
FAX: 046-822-5259
npo-yokosuka@rondo.ocn.ne.jp
横須賀同胞便り 6
2011年7月号

그리운 조국을 찾았습니다. 祖国を訪ねました。



金剛山



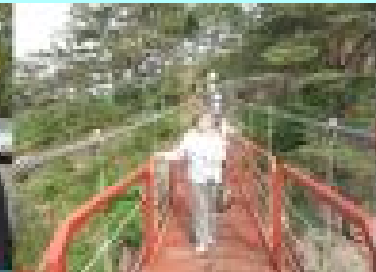
金剛山 三日浦



テドンガン果樹園



親族面会



金剛山のつり橋



ピョンヤン地下鉄

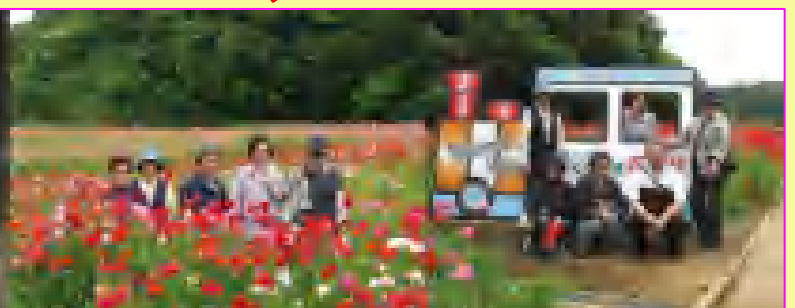
6月の神奈川同胞祖国訪問団に横須賀から参加された同胞に感想を聞きました。
「行って良かった！初めての訪問で心配事もあったが、行って良かった！来年もまた行きたい。細かいことを言えばきりが無いが、まず、百聞は一見にしかずだね。又、ご老人たちを相手によく面倒を見てくれた。感謝したい。食事も口に合うし、金剛山もよかった。音信不通の親族たちとも会えた。本当にアッという間の一週間だった。来年は横須賀の同胞たちで行きたいね。」

よこすかさんさく



浦賀燈明堂跡

横須賀をまだ良く知らない私を、事務所から横須賀散策に連れ出してくれました。首都圏に位置して都市的でありながら、半島特有の海と緑に恵まれた横須賀は、リゾート的な感じさえたよわせるとても魅力なところだと思います。秋にもまた連れてって～！



久里浜花の国

たちを喜ばせた。そして人々は、いつしか高麗山の神域に高麗神社（現在は高来神社）を建て、始祖の霊に報い今日に至っている。

この神社の大祭は毎年七月十八日に行われるが、隔年交代で飾船、権現丸と明神丸が大磯港から照ヶ崎まで引かれて行く華やかな行事で繰り広げられる。この時に歌う船子たちの船歌が面白い。「そもそも権現丸の由来は……応神天皇の御時……俄かに海上騒がしく……唐船急ぎ八つ帆を大磯の方へ……船の中より翁一人立出て……汝等よく聞けよ、我は日本国の者に非ず……諸越の高麗国の守護なるが……汝等を帰依する者なれば、大磯の浦の守護となり、子孫繁昌と守るべし……」となっている。（『大磯歴史物語』池田彦三郎）

何とロマンチックな船歌であろう。翁とは一体、どんな人物だったろうか？千三百年を経た今日まで、この歌が歌い続けられている。ならば「オイソ、オイソ」と迎えられたのは、本当にあった話に違いない。



オンガイ ハライ
コラム【錠亜威 馬虞威！】

シリーズ(2)「粗食」は健康に良いのか？

美食は健康に良くない、粗食こそが長生きの秘訣。と言う「粗食信仰」の持ち主が多いが、はたして本当だろうか？「粗食信仰」は、仏教の伝来によると言われるが、仏教に「動物性の食品を摂るな」と明記した経典はないし、釈迦もミルクを食したと伝わらない。

有力なのは、仏教が中国に入って道教と結びつき、朝鮮半島に入った頃から「殺生禁止」の思想を残してくる。こうして日本の「粗食信仰」は殺生禁止の思想に、肉や魚をたくさん摂れない現実と相まって生まれたと考えられる。

日本で、「粗食長寿説」を世に定着させたのは、貝原益軒の『養生訓』だ。飽食の人には良書だろうが、江戸時代の平均的な庶民にとってはどうだろうか。「粗末な物を食べて、一生懸命働くと長生きしますよ」、言うなれば愚民思想だ。封建社会では、庶民に質素や勤勉を強いる。

『養生訓』が世に広まった背景には、当時の支配者階級の論理が働いていたと考えられ、もっぱら治世のため、庶民の健康のためではなかった。

四十年くらい前に生命保険学会が面白い統計を出した。職種別でどんな人が長生きするか、というデータだ。数字が示すところは、国会議員と三菱の重役が長命、であった。理由は簡単。良い物を食べているからだ。美食家には太り気味の人が多い。しかし、「デブは短命」と決めつけてしまうのも迷信だ。高齢者では太っている人、中年まで含めると中肉からやや太めの人の方が長生きとなる。痩せているほど長生きする、というデータは現在では見当たらない。

なにも暴飲暴食を薦めるわけではなく、摂り過ぎをやめなさい、というだけの話だ。

過度な「粗食信仰」は、生きることの醍醐味を味わい損ねさせるところがあるように思え

てならない。栄養を取ることが健康に良くないなんておかしい！ 錠亜威 馬虞威！

この後へ
무현기
神奈川朝鮮中高級学校創立60周年記念
『金剛山歌劇団』横浜公演
—<東日本大震災>復興支援チャリティーコンサート—
2011年8月30日(火)
開催決定!!
午後5時20分開場、午後6時開演

KAAT
KANAGAWA ARTS THEATRE
今年1月11日にオープンした芸術劇場の最高峰
神奈川芸術劇場
芸術監督・宮本亜門演出の『金剛寺』をはじめとした「NIPPON文学シリーズ」で幕を開けて、今年の4月30日に劇場を開放したばかりの劇場です。コンセプトは「モノ」<人>、<まち>の「3つのつくる」をテーマとする劇団型劇場で、オペラ劇場風の素晴らしい施設です！
〒231-0023 神奈川県横浜市中区山下町281
TEL: 045-633-6500

チケット先行予約 NPO横須賀同胞生活相談総合センター
TEL: 046 (822) 5250 FAX: 046 (822) 5259
*枚数に限りがありますので
お早めにご予約ください。 担当者: チャン・ジョンイル

孫済河先生著書 「わが ウリ・トンポ(同胞)ウリ・トンネ(町・村)百話」 ~ もう一つの神奈川史 ~
シリーズ(2) オイソ、大磯と迎えられ
神奈川県相模湾沿いにある大磯町の大磯という名称は、その昔、地元の人々が朝鮮半島から渡って来た懐かしい遠来の客を、「オイソ、オイソ(おいでなされ、おいでなされ)」と喜んで迎えたのはじまったといわれている。
関東は高麗(高句麗)人たちの開発した新天地であり、夢ふくらむ初国土でもあった節がある。こうした由来を伝える渡来人たちの遺跡と物語りは、彼等が目印に船足を進めた、神奈川県にある古代相模湾の良港『大磯』にはじまる。
大磯は、当時漁撈でにぎわい、気候も温暖で、相模平野もまた土が肥え作物も良く出来て移住民